



# 大阪法務局管内 係長級選考採用職員 インタビュー

シラナカッタヌキ



不動産登記推進  
イメージキャラクター  
トウキツネ



大阪法務局  
(令和2年度採用)  
前職：不動産業(財務経理、  
営業事務)

**Q1** 入局前に不安に思っていたことはありますか。  
また、実際入局してどうでしたか。

係長級職員として、初めて公務の現場で勤務するに当たり、上の世代と下の世代との間に入り、うまく馴染むことができるかどうか心配だった点です。

実際に入局してみると、職員は総じて人当たりが良く、気さくで優しい方ばかりで、心配する必要はありませんでした。困ったことがあっても相談しやすく、解決に向けて一緒に考えてくれたり、適切なアドバイスやサポートが受けられるので、安心して業務に取り組んでいます。

**Q2** 前職のスキルを、  
法務局でいかすことができたと思った瞬間はありますか。

私の場合、直結するスキルは特にありませんでした。強いて言うなら、不動産業だったので登記記録の内容を見る機会が多かったくらいです。

専門的なスキルがあれば良いことは言うまでもありませんが、これまで社会人経験として積み上げてきた顧客対応や事務処理能力、何より業務に対して柔軟に取り組むことができる対応力がしっかりと身に付いていれば、あとは努力次第で、どなたでも活躍できる職場だと思います。

**Q3** 応募を迷っている方へメッセージをお願いします。

法務局は、幅広い業務を取り扱っており、たくさんの学びと経験を得られる職場です。

また、来庁する方と接する機会も多いことから、自分の仕事が社会に貢献できていることを実感できて、とてもやりがいを感じることができます。

福利厚生についても、休暇制度やワークライフバランスに力を入れており、個人の生活に合わせた柔軟な働き方を選択できる環境が整っています。

転職で自分の活躍できる場所を探している方は、是非とも挑戦してみてください。

和歌山地方法務局  
(令和7年度採用)  
前職：司法書士事務所



**Q1** 入局前に不安に思っていたことはありますか。  
また、実際入局してどうでしたか。

司法書士事務所で勤務していたため登記実務には馴染みがありましたが、法務局は戸籍、供託、人権擁護など幅広い業務を担っているため、自分に務まるだろうかという不安がありました。また、公務員の職場には堅い雰囲気があるという印象も抱いていました。

しかし、実際に入局すると、充実した研修制度や職場全体のサポート体制に加え、先輩職員にも気軽に相談できる風通しの良い雰囲気があり、不安を感じることなく業務に取り組むことができました。

**Q2** 前職のスキルを、  
法務局でいかすことができたと思った瞬間はありますか。

司法書士事務所で培った登記実務や相談対応の経験は、法務局の業務においても大いに活かされています。申請人や申請代理人である司法書士の立場や考え方を理解した上で対応できるため、円滑な説明や調整につながることも多くあります。民間で培った知識や経験は決して無駄になることはなく、新たなフィールドでも十分に活かすことができると実感しています。

**Q3** 応募を迷っている方へメッセージをお願いします。

法務局は、専門性を活かしながら国民生活を支えることができる、非常にやりがいのある職場です。安定した環境の中で新しい知識や経験を積みながら成長することができ、職場には気軽に相談できる風通しの良い雰囲気があります。私自身も転職前には不安や迷いがありましたが、思い切って一歩を踏み出して本当に良かったと感じています。少しでも興味をお持ちの方は、ぜひチャレンジしてみてください。

神戸地方法務局  
(令和4年度採用)  
前職：地方公務員



**Q1** 入局前に不安に思っていたことはありますか。  
また、実際入局してどうでしたか。

入局前は、法律の専門知識がない私に務まるのか、また職場の雰囲気になじめるのか不安がありました。しかし実際に入局してみると、研修や先輩職員の丁寧なサポートが充実しており、業務に必要な知識は働きながら着実に身につけることができました。職場も相談がしやすい雰囲気で安心して業務に取り組んでいます。国民の権利や財産を支える重要な仕事に携われることに大きなやりがいを感じています。

**Q2** 前職のスキルを、  
法務局でいかすことができたと思った瞬間はありますか。

法務局に採用される以前は地方自治体で勤務し、様々な住民対応を経験しました。現在は人権擁護課で人権相談業務や調査救済業務を担当しています。法務局に入局後、その経験がいかされたと感じたのは、窓口や電話での相談対応です。相手の話を丁寧に聴き取り、わかりやすく説明する力は前職で培った大切なスキルです。また、正確性が求められる事務処理や調整能力も現在の業務に直結しています。

**Q3** 応募を迷っている方へメッセージをお願いします。

私自身、応募する前は「未経験でも務まるのだろうか」「新しい環境になじめるだろうか」と迷いがありました。転職は大きな決断なので、迷うことは当然だと思います。法務局にはこれまでの経験をいかしながら新たな専門性を身につけられる環境があります。少しでも興味があれば、ぜひ挑戦してみてください。きっと、新たな可能性が広がると思います。



京都地方法務局  
(令和2年度採用)  
前職：金融機関

**Q1** 入局前に不安に思っていたことはありますか。  
また、実際入局してどうでしたか。

職場の雰囲気はどうか、子育てとの両立はできるのかと、何が不安なのかもわからないくらい不安しかなかったです。実際入局してみたら、中途採用で扱いにくいであろう私にも、優しく接してくださって、どの職場でも、私が困っていたら当たり前のように助けてくれます。また休暇も取りやすく、子どもの学校行事にも参加でき、職場全体において子育てとの両立に理解のある職場です。

**Q2** 前職のスキルを、  
法務局でいかすことができたと思った瞬間はありますか。

恥ずかしながら、前職のスキルを法務局でいかすことができたと思った瞬間というのは、なかなかないのですが、強いていうなら、前職では信託銀行で遺言信託事務や相続事務を担当していたことから、戸籍の確認には慣れていたため、不動産登記部門に配属された際には、相続登記の調査など戸籍の確認が必要な事務では役立ったと思っています。いつか遺言書保管事務を取り扱う遺言書保管官を担当できればいいなと思っています。

**Q3** 応募を迷っている方へメッセージをお願いします。

子育てとの両立が・・・や専門的な知識や経験もないから・・・とできない理由を探すより、自分を信じて応募してみてください。どういう結果であれ、行動せずに後悔するよりも、行動してみる方がいいと思います。仕事ですので、しんどいこともありますし、勉強不足を反省する日々ですが、職場の方々のおかげで毎日、元気に仕事ができています。

皆様の応募をお待ちしております。どこかで私を見かけたら、ぜひ、声をかけてくださいね。



奈良地方法務局  
(令和3年度採用)  
前職：金融機関

**Q1** 入局前に不安に思っていたことはありますか。  
また、実際入局してどうでしたか。

入局前は、法務局の業務が専門的であるため、自分に勤まるのか不安に感じていました。また、前職とは異なる分野であったため、新しい知識や業務を一から習得できるか心配もありましたが、入局後は研修制度や先輩職員の丁寧なサポートが充実しており、安心して業務を学ぶことができました。

選考採用試験（係長級）を経て入局しましたが、採用区分に関わらず、職員の皆さんと協力しながら業務に取り組むことができ、国民の権利や財産を守る重要な仕事に携われることに大きなやりがいを感じております。

**Q2** 前職のスキルを、  
法務局でいかすことができたと思った瞬間はありますか。

前職の金融機関で培ったお客様対応力やコミュニケーション能力は、法務局の業務でもいかされていると感じています。特に、窓口や電話での相談対応では、相手の話を丁寧に伺い、その意図や状況を的確に把握した上で分かりやすく説明する力が役立っています。

また、金融機関で多様なお客様と接してきた経験により、相手の立場や気持ちに配慮しながら円滑な対応を行うことができ、法務局においても信頼関係の構築や適切な案内につながっていると実感しています。

**Q3** 応募を迷っている方へメッセージをお願いします。

法務局の仕事は、登記や戸籍、供託などを通じて国民生活を支える、社会的意義の大きな仕事です。専門的な知識が必要なため不安を感じる方もいるかもしれませんが、研修制度や周囲のサポートが充実しており、安心して業務に取り組むことができます。これまでの経験をいかながら新たな知識を身に付け、自分自身も成長できる環境です。

法務局の業務に興味のある方は、ぜひ選考採用試験への応募をご検討ください。皆様とともに働ける日を心よりお待ちしております。